

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2017年6月13日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2017/06/13 15:21
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2017年6月13日号

1. 学会関連情報

○日本保健物理学会第50回研究発表会・日本放射線安全管理学会第16回学術大会合同大会（6月28日?30日、大分市）まであと2週間となりました。

合同大会ならではのシンポジウムや企画セッションなどの学術面での討論、懇親会では大分産の酒（焼酎）と肴での交流を楽しんでいただくよう

準備をしています。（甲斐大会長より）

○6月6日に発生した事故を受けて「大洗プルトニウム汚染事故WG（仮称）」を学会内に設置しました。

WGでは、今後、事故の概要把握、線量評価・健康影響などの情報収集を行い、学会としてタイムリーな情報発信に努めます。

○「自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会」第1回会合開催

（6月29日（木）16:00?18:00、日本保健物理学会第50回研究発表会B会場ホルトホール大分）

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=60>

研究会委員以外の方につきましても希望があればオブザーバとして参加が可能です。

会場の事前設営等の都合上、参加を希望される方は事前（6月26日まで）にご一報いただけますようお願いいたします。

連絡・問合せ先 研究会委員 原子燃料工業 小林 s-kobaysアットnfi.co.jp ※アットは@に変換して下さい。

○「低線量・低線量率リスク推定法専門研究会」第5回会合開催

（6月19日（月）9:30?12:30（予定）、電力中央研究所 大手町ビル 7階 711会議室）

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=61>

研究会委員以外の方につきましても希望があればオブザーバとして参加が可能です。

会場の大きさ等の都合上、参加を希望される方は事前にご一報いただけますようお願いいたします。

連絡・問合せ先 研究会幹事 電力中央研究所 佐々木 michiyaアットcriepi.denken.or.jp ※アットは@に変換して下さい。

○国際放射線防護学会, IRPAからのお知らせ 水晶体TGの報告書がJRRに掲載されました。フリーアクセスです。

Journal of Radiological Protection, Volume 37, Number 2

Report of IRPA task group on the impact of the eye lens dose limits

<https://doi.org/10.1088/1361-6498/aa604b>

2. 関連する研究動向

○国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） SATREPS 平成30年度 研究提案募集について ?対象分野：環境・エネルギー／生物資源／防災?

(募集期間 : 9月中旬?10月下旬予定)

<http://www.jst.go.jp/global/pdf/koubo2018.pdf>

○農業・食品産業技術総合研究機構 イオンビーム照射でセシウムを吸収しにくい新品種コシヒカリを開発

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/075645.html

○水産庁 「2016年度水産白書」PDF版公開 福島県水産物の放射性物質モニタリング検査結果について掲載
(第5節 東日本大震災からの復興)

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/index.html>

(論文情報)

○Journal of Environmental Radioactivity Volume 177, October 2017, Pages 1?12

異なる高さに取り付けられた2つのNaI検出器による走行サーベイの実施。検出器を二つ用いることにより、一つの検出器を用いる場合よりも基準測定値に近い値を得た。

2つの検出器の測定値の比は、道路上の放射性セシウムが隣接する土地と比較して少ないかどうかを示した。

Using two detectors concurrently to monitor ambient dose equivalent rates in vehicle surveys of radiocesium contaminated land

Takeishi M et al

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0265931X17300929>

○Journal of Epidemiology Available online 30 May 2017

東日本大震災前後に3-4歳の子供93,538人の人体測定データを分析。

震災の影響を受けた3都道府県(岩手、宮城、福島)では、幼児の過体重が他の都道府県よりも顕著に高かった。

Alterations in physique among young children after the Great East Japan Earthquake: Results from a nationwide survey

Kikuya M et al

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0917504017301053>

○Radiation and Environmental Biophysics May 2017, Volume 56, Issue 2, pp 161?165

吸入ラドンの生物動態を調査するために、空気中のラドンに曝露した後にマウスの組織および器官におけるラドン活性濃度を測定。

空気中のラドン活性濃度が1MBq / m³で飽和した場合、マウス血液中のラドン活性濃度は0.410±0.016Bq / gであった。これらの結果から、

生理学的に基づく薬物動態モデルを用いて、血液 - 空気分配係数の値を0.414と算出した。

Measurements of radon activity concentration in mouse tissues and organs

Ishimori Y et al

<https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs00411-017-0682-9>

3. ニュースや社会の動き

○資源エネルギー庁 「平成28年度エネルギーに関する年次報告」(エネルギー白書2017)PDF版公開

<http://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2017pdf/>

○Nuclear Energy Agency (NEA) 工業、研究、医療で生じる非原子力発電由来の放射性廃棄物の管理に関するワークショップを開催

(5月24日、イタリー)

<http://www.oecd-nea.org/rp/workshops/nonurad2017/>

○原子力規制委員会 第12回(5月31日開催) 平成28年度原子力総合防災訓練 実施成果について
石渡規制委員、津波や暴風雪を想定した泊の原子力総合防災訓練「今後もより厳しい状況を想定した訓練を」

<http://www.jaif.or.jp/170602-1/>

○放射線影響協会 放射線影響研究功績賞受賞候補者の募集について(募集期間:9月15日~12月15日)

http://www.rea.or.jp/kikaku/kenkyujyosei/kensyou_frame_kouseki.html

○日本アイソトープ協会 平成29年度後期NMCC共同利用課題募集のお知らせ(締切:7月31日)

<http://www.jrias.or.jp/association/cat9/29nmcc.html>

○日本原子力学会 新刊発行「Phebus FPプロジェクトにおける核分裂生成物挙動のまとめ

福島プラント廃炉計画およびシビアアクシデント解析への適用」(水化学部会「核分裂生成物挙動」研究専門委員会準備会編)

<http://www.aesj.net/publish-1701>

4. これからのイベント

○原研 第13回PHITS研究会/講習会

(8月29-31日、茨城県東海村 いばらき量子ビーム研究センター)

<https://phits.jaea.go.jp/Newsj.html#infoj0111>

○国立保健医療科学院 原子力災害時等における地域保健活動のための技術研修(11月27-29日、国立保健医療科学院) 受付期間8月28日
必着

https://www.niph.go.jp/entrance/h29/course/short/short_kankyo08.html

○日本アイソトープ協会 平成29年度放射線安全取扱部会年次大会(ポスター要旨締切:8月10日(申込受付中);事前登録締め切り:9月8日)

(2017年10月12?13日、淡路夢舞台国際会議場)

http://www.jrias.or.jp/annual_meeting/index.html

○日本技術士会 原子力・放射線部会 特別講演会「スーパーサイエンス部放射線班として東日本大震災後の取り組みで学んだこと(仮題)」

(6月23日 15:00?17:00、日本技術士会 葺出第二ビル会議室)

https://www.engineer.or.jp/c_dpt/nucrad/topics/001/001452.html

○日本原子力学会 原子力安全部会企画セッション「原子力安全文化に関するフォローアップセミナー」

(7月11日 13:30?18:00、東京大学 武田ホール)

<http://www.aesj.or.jp/~safety/>

○環境放射能除染学会 第6回研究発表会

(7月19日?20日、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター))

http://khjosen.org/event/conference/6ht_Con/kenkyu06.html

○技術研究組合 国際廃炉研究開発機構(IRID)「IRIDシンポジウム2017 in いわき『燃料デブリ取り出しに挑む』」
(8月3日 13:00?16:45、いわき産業創造館 企画展示ホール(LATOV6階))

<http://www.irit-symposium.jp>

○静岡大学ほか 平成29年度原子力規制人材育成事業「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」
(8月10?11日:静岡大学、8月28?29日:富山大学、9月20?21日:九州大学)

http://jn-hrd-n.jaea.go.jp/material/news/20170607-shizuoka_univ_info.pdf

○放射線計測研究会(会長 中村尚司東北大学名誉教授)
(7月8日 13:30?17:00、三菱総合研究所 大会議室CD)

<https://sites.google.com/site/radmeas/>

○経済産業省 資源エネルギー庁 原子力発電所の廃止措置に関する国際ワークショップ
(6月30日、六本木アカデミーヒルズ)

<http://www2.convention.co.jp/haishi/index.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○放射線影響研究所 統計部研究員・主任研究員等(任期付)
(9月30日必着、応募があり次第採否を決定、充足すれば締切)

<http://www.rerf.jp/news/recruit.html>

○量子科学技術研究開発機構 放射線管理、安全等に関する分野 職員(技術)若干名(6月30日必着)

<http://www.qst.go.jp/information/perm.html>

既発行の新Newsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新Newsletterにて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp